

講義年月日 2005年9月8日

講師 加藤 好郎氏(慶應義塾大学)

テーマ 「ディベート大会」

講義内容

1. 大学経営、大学図書館経営を巡る厳しい状況について、各種統計データ等をもとに解説
2. Debateの目的、定義、進め方について説明

Debateの目的

自分なりの理論構築を行い、そのことを他人に納得させる能力を開発する。

Debateの定義

- ・ 公の問題についての議論であること
- ・ 対立する複数の視点をつきあわせている議論であること
- ・ 第三者に向けての議論であること

Debateの進め方

- ・ 一つの議論をめぐって行われる
- ・ 相対する2組の間で行われる
- ・ 一定のルールの従って行われる
- ・ 判定(勝敗)がくだされる

Debateの流れ

- ・ 3(A班、B班、C班)グループに分かれる
- ・ 対戦相手 A対B(C判定)、B対C(A判定)、C対A(B判定)
- ・ 論題決定
- ・ 肯定派、否定派にわかれる
- ・ 作戦タイム(15分)
- ・ 立論(5分+5分)
- ・ 作戦タイム(10分)
- ・ 反論(5分+5分)
- ・ 作戦タイム(5分)
- ・ 総論(5分+5分)
- ・ 判定タイム(5分)
- ・ 判定(5分)

論題1 「私学経営危機の観点から、図書館の予算も削減すべきだ。是か非か」

論題2 「大学は、図書館員育成のために図書館外への異動をやめるべきだ。是か非か」